

スローライフ学会だより

発行：NPOスローライフ・ジャパン（スローライフ学会事務局） 2009年7月NO. 7
〒102-0085 東京都千代田区六番町6-1 パレロワイヤル六番町310 ☎03-3221-5113 fax03-3221-5114
<http://www.slowlife-japan.jp/> E-mail:slowlife@nifty.ne.jp

学び、語る、知的なビアタイム——

スローライフ学会「さんか・さろん」スタート！



「スローライフ学会の会員同士が出会い、学びあえるような場がほしい」というかねてからのご希望に応え、「さんか・さろん」が始まりました。毎月“第3火曜日”に、みんなが“参加”して、スローライフ“讃歌”、と語呂合わせのサロンです。

第1回7月21日（火）トップバッターのスピーカーは、学会幹事の篠田伸夫さんと、商店街部会担当の木暮衣里さん。東京・平河町 Mercury Room（クオリティ(株)6階会議室、学会会員・浦 聖治さんの会場提供）に、雨の中27人の方々が集まりました。

大学生から、その道の大御所まで、いろいろな方が集まっているのがこの学会の良さ。また、当日参加の一般の方もあり、新鮮な顔もチラホラ。

この日のおつまみは学会会員手づくりの梅・甘夏・ラズベリージャムののったクラッカー。講師もビール片手に・・・、がいかにスローライフの勉強会です。



講師お二人から40分ずつの小講義。その後の、参加者からの質問やご意見が多く、時間が足りない足りない……。会場のイス・机をみんなで片付けた後に、2次会サロン。映画『1000年の山古志』プロデューサーの武重邦夫さんの駆けつけ参加もあって、熱く続いたのでした。

地方の方から、東京以外でも・・・！と声がありそうですが、しばらくは都内で。地方のみなさん、出張や旅行を第3火曜日に合わせてご計画を。



スピーチ I

もっと飛ばそう ドクターヘリ

篠田伸夫さん

NPO 救急ヘリ病院ネットワーク副理事長

<http://www.hemnet.jp/>

□多量な患者が通う大病院が医療の大型店なら、どんな場所にも短時間で医師を運ぶドクターヘリはフットワークの良い専門店の出前か?! そんな感想を持つレポートでした。□

「ドクターヘリ」とは和製英語。ヘリコプターに救急医療用の医療機器が装備され専門医と看護師が乗り込み、医療機関に患者を搬送するまでの間に救命医療を行うことができる専用のヘリコプターのこと。救急車は患者を病院へ搬送するが、ドクターヘリは医師を救急現場に搬送する。あくまでも要請は消防か医療機関から。個人が呼べるのではない。

救急は時間の勝負、カーラーの生命曲線というのがあり、心臓停止状態が 3 分、呼吸停止状態が 10 分、多量出血状態が 30 分経過すると死亡率は 50 パーセントとなるといわれている。交通渋滞に巻き込まれた救急車を考えれば、ドクターヘリは医師が乗っているのに到着後すぐに治療を開始できる。ヘリ要請から医師が治療を開始するまでの時間は平均 14 分という研究もある。救命率は救急車と格段に違って来る。消防防災ヘリはあくまでも多目的であって、救急専用というわけにはいかない。ヘリ基地の問題もある。だからドクターヘリがもっとほしい、もっと飛ばしたいと運動している。

ドクターヘリはチャーター方式、保有方式ではない。厚生労働省は 1 年間のチャーター料を 1 億 7 千万円としている。国の補助金 2 分の 1+都道府県の負担 2 分の 1、つまり 8500 万円が都道府県の自己負担となる。これだけ費用がかかるので、ドクターヘリがどんなに良いかわかっていても全国での配備が進まなかった。現在 16 道府県で 18 機、今年度中に 6 機増加するようだが・・・。

それが今年 3 月、都道府県自己負担額の 2 分の 1 が特別交付税で措置されることとなった。さらに、来年には特別交付税参入率を 50 パーセントから 70 パーセントに引き上げるという朗報もある。そうすれば都道府県負担は 2550 万円となる。今後ドクターヘリがどんどん導入されていくだろう。



しかし課題も多い。厚生労働省の出したチャーター料の料金はあくまで年間 250 回のフライトを前提としたもの。現状では平均で年間 313 回、最多は千葉北総の基地で 663 回の出動。その差額は大きい、今は運行会社が泣き寝入りさせられている。この解消がはかれるか。

また、今は 119 番通報からドクターヘリ要請までの時間が 14 分以上かかっている。高速道路本線への着陸なども課題の一つである。

スピーチⅡ

「きらきら商店街旬の話題」

～小さなカフェから始まった全市的な産官学連携～

木暮衣里さん

木暮経営企画研究所代表 中小企業診断士

<http://kogure-office.com/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

□全国的にシャッターの閉まった店の多い商店街。パワーを蓄えてミラクルをつかめば、一気に上昇気流に！木暮講話を聞くと、空き店舗が可能性のスペースときらきら輝きだします。□



東京都武蔵野市、JR武蔵境駅から徒歩15分の「富士見通り商店街」。ここに、コミュニティスタジオ「ハートランド富士見」<http://www1.parkcity.ne.jp/fujimi/> が平成14年にできた。空き店舗を利用した12坪の施設。商店街のお客様が休憩したり、バス待ちに利用したり。さらにイベントやサークル活動、地域情報の発信などに使われている。バリアフリートイレや赤ちゃんのオムツ換えベットもある。市・商店会連合会・商店会が運営費用を各3分の1ずつ出している。

囲碁のサークル、大正琴などのグループが愛用したり、毎月「あかちゃんのひろば」が開かれたり。さまざまに利用されている中で、注目すべきなのが「コミュニケーションカフェ こもれび」。これはすぐ近くにある亜細亜大学の学生有志が平成20年から始めたカフェで、毎週木曜日11時～19時の営業。学生たちのフィールドワークがきっかけとなり“学生と地域の人が気軽に集い、コミュニケーションを深めたい”と続いている。

豆から挽いた本格コーヒーが200円という安さ。週替わりの限定手づくりスイーツ、使い捨てでない食器類の使用などエコへの気配りも。若者たちが来店者の名前を覚えて積極的に話しかけるので、高齢者や子連れのお母さんたちもくつろいでいる。来店者の写真を壁面に飾ったり、ホワイトボードにメッセージ発信したり、これまでの商店街活動とは一味違う展開となっている。

このカフェを通して若者はコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけ、まちづくりへの興味もより深まってきている。商店街にこのカフェができて、だから急に賑わいがおきた、というわけではないが、これまでの店とは違う視点・発想の場が毎週開かれることが刺激になり、なにより外部への発信にもなっている。

こうした商店街、行政、大学との連携は、全市的に広がりつつある。時間をかけても会議や実験を繰り返して「パワーを蓄え」て、そこに何かこれだ！という目を引く成功事例ができあがり「ミラクルをつかむ」と、その勢いにあおられて一気に「上昇気流に乗る」ということがある。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「もっとへりは安くないのか」「商店街に地域にすむ人が参加すべきだ」など、参加者からたくさんの質問・意見が出た。これもミニスピーチに近い、内容の濃いものでした。



「さんか・さろん」次回は8月18日(火)です。

スピーカーはこのお二人。別紙にてお申し込みください。

○長谷川八重さん (NPO スローライフ掛川 理事) 「掛川流ライフスタイル提案講座」
「スローライフ月間」という催しを初めて開いた掛川で、どんな動きが起きたのか。掛川の“ゆっくり”を学びましょう。



○前川啓治さん (筑波大学人文社会科学研究科教授) 「マクドナルドから見えるもの」
グローバル化は地域社会によってどう変化してきたか。そこに見えるものは……。国際的視野からのお話です。



筑紫哲也賞のパンフができました。

呼びかけをお願いします。

第1回筑紫哲也賞「スローライフの眼」作文コンクールのご案内パンフレットができました。これまでの経緯や、詳しい募集要項が載っています。ぜひお近くの方々にご案内いただき、たくさんの方が集まりますようにご協力ください。パンフのデータはホームページにも載っています。



淡路島は12月4・5・6日にー。

「スローライフ月間 in 淡路島」は、10月、11月と開催、その締めくくりとして、スローライフ学会のフォーラム(分科会と全体会)を計画中です。12月4日(金)と5日(土)に分科会、6日(日)に全体会の予定。淡路島から学ぶスローライフを期待して、今からご予約ください。

****会費とメールをよろしくお願いします。****

年会費(4月~3月)5000円をよろしくお願いします。銀行振り込み、郵便局(ゆうちょ銀行)どちらでも結構です。「払ったかどうか??」という方は、事務局 までご一報ください。また、事務局にまだメールアドレスをご連絡でない方、一度メールを送りください。なるべくメールでのご連絡をさせていただきたく思います。

《銀行振込》

銀行名 三井住友銀行麴町支店 番号 普通預金 8811176 口座名 スローライフ学会

《郵便振込》 番号 00190-4-595293 加入者名 スローライフ学会

《問合せ》 スローライフ学会・NPOスローライフ・ジャパン

Tel 03-3221-5113 (Fax 5114)

メール slowlifej@nifty.ne.jp ホームページ <http://www.slowlife-japan.jp/>